



3 後援会だより

Mar 2021 Vol. 44

現代ビジネス科1年「キャリアガイダンス 社会人の話を聴こう!」の開講について

現代ビジネス科では、キャリア教育の一環として、地元宮崎で活躍されている社会人の生き方や仕事への思いを伺う機会を設けております。今回は、医療法人社団絨和会平和台病院からアドバイザーとして事務長の河野弥生様、講演者として医事課診療情報室の渡邊瞳様からお話を伺いました。あいにく、新型コロナウィルスの感染拡大の影響もあり、Zoomでの遠隔講演となりました。

渡邊様は就職されて6年目の若手の医療事務職者であり、学生は大変イメージが持ちやすかったようです。失敗をしたエピソードやストレスが溜まったらどう発散しているのかなど、職場にありがちな新人ならではのことを取り上げていただきました。また、就職後、3回の異動を経験されており、医療事務職者としての専門性についても豊富な経験談とともに、お伝え下さいました。

学生にとって、これからの進路を考えるための手がかりとなる、貴重なお話でした。お忙しい中でのご講演に感謝いたします。

ビジネスコース1年 守山 宥成

「昨日できなかったことを今日一つでもできるようにする」という言葉がとても印象に残っています。失敗をネガティブに捉えるのではなく、前向きにとらえ自分を向上させていくことの大切さを知りました。私は完璧主義なところがあるので、非常に参考になり、勇気付けられました。また、ストレスのコントロールや学生時代の取り組みなど、今の自分の性格や現状を考えると、とても心に突き刺さるものでした。

医療事務・医療秘書コース1年 迫田 由貴希

実習に行く前にお話を聞くことができて良かったです。6年間で、医事課、外来クラーク、診療情報管理士という3つのお仕事をされていることに、とても驚きました。色々なことを経験できるということは、私が将来を考えるうえでとてもいい情報だったと思います。また、医師の指示を受けて行うばかりでなく、医師のサポートをしっかり行うことも大切なだと理解することができました。



後援会総会

例年実施しております宮崎学園短期大学後援会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず、書面決議を予定しております。

合同実習報告会

実習指導課長 有嶋 誠

保育科では、数年前より保育実習指導の一環として「合同実習報告会(以下報告会と記す)」を実施しています。報告会の目的は「2年生が11月に実施した保育実習IIについて、1年生に対して実習報告を行なうことにより、2月予定の1年生の保育実習Iaへの実習に臨む意欲や心構えを高めること。」としています。

報告会を実施するに当たり、保育実習IIを経験した2年生全員が地域毎に10のグループに分かれて2年生同士で実習報告を実施しました。私が担当した地域は、宮崎市(住吉・大塚)と田野町のグループで9保育園18名の学生が3回にわたって実習報告を行ないました。報告内容は「実習先の概要(保育目標・方針)」「実習の目標と課題」「実習前の準備内容」「具体的な実習内容」「実習中に子どもから学んだこと」「実習中に先生方から学んだこと」「先生方からいただいた具体的なアドバイス」「研究保育の内容」「後輩に伝えたいこと」などです。各グループ内で2年生全員の報告が終了した後にグループ毎に報告会の報告者5名を決定しました。

報告会では、教室の前方に1年生が座り、後方に2年生が座るという形式で行ないました。代表5名の2年生が実習報告をした後に1年生からのいろいろな質問に答えたり保育実習Iaに臨む1年生にアドバイスをしたりしました。報告と併せて保育実習IIで園児とともに製作した作品や園児にプレゼントした製作物も見せてくれました。先輩が作成した製作物を直接手にとり興味深く見ている1年生の姿が印象的でした。

報告会に参加した1年生は「コロナの影響で体験実習ができなかったけど先輩の実習報告を聞き事前に準備することがわかって良かった。」「研究保育が心配だったけど少し安心した。」「先輩の報告を聞き2月の実習が楽しみになった。」などの声を聞くことができ、これから実習に臨む1年生の実習に臨む意欲や心構えを高めることができたと感じました。

令和2年度入学の1年生は、新型コロナの影響により夏休み期間に予定していた保育所や幼稚園等における5日間程度の体験実習を中止しました。1年生にとっては2月の保育実習Iaが初めての長期間の実習となります。報告会で得た先輩の貴重な報告内容やアドバイスを保育実習Iaにぜひ活かしてほしいと願っています。



現在の就職状況

就職・進学支援課 田村 広美

全国的に就職率は好転し、「売り手市場」といわれていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、採用を控えられた企業もあり、また、就職に繋がる実習も思うようにできない状況でした。暫くは、コロナ禍の終息が見通せない状況での就職活動になりそうです。そんな中、現代ビジネス科1年生の就職活動が3月1日から始まりました。春休み期間を十分に活用し、企業訪問や説明会への参加、筆記試験対策等の各自の積極的な就職活動を行い、採用試験へと繋げてほしいと思います。保護者の方々からも声かけ等のサポートをお願いいたします。



春のオープンキャンパス

自信の補充

自信に満ちあふれ、やる気に燃えている人を見ると、羨ましく嫉妬すら感じる。どこからあの元気は来るのだろう。

人から見て私がどう見えているのか分からないが、もしかすると、私も人から見ると元気に、自信に満ちて見えるかもしれない。でも私の場合は、やっとなんと前向きに生きている。しなければいけないこと・した方がいいことは山のようにある。手がつくのはほんの僅かである。手をつけてもうまくいかず、晩酌で疲れを癒やし、ぐっすり寝て元気を取り戻す。そんな繰り返しである。細々と前向きに生きている。

やっかみ半分であるが、自信に満ちあふれているように見える人も、やっとなんと元気な姿を見せていて、どこかでため息ついているのではないかと想像する。

人間の元気の素は何だろう。

食べるときは食べ、しっかり寝る。そうすれば元気な朝を迎えられる。

しかし、心の元気にはこれだけでは足りない気がする。心の元気に効くのは、やはり周りの人の温かい心遣いである。

モヤモヤした心配事も誰かに共感してもらえたら、いつべんに軽くなる。

そしてもう一つ、自信だ。これがないと踏み出す元気が出ない。

自信過剰は困る、適度な自信がいいと言われる。しかし、自信は何かあるとすぐ崩れる。永続性がない。だから、時々補充してやらないと心は保たない。

自信の補充源は、周りの人の承認と自分のポジティブ思考だ。

挑戦するのに、自信はどれだけあっても足りない。



学長 宗和 太郎

輝ける忍ヶ丘(学生の成長)

保育科

やわらかな保育空間

保育科長 泰田 久史

ある園を訪問した際、心に残る保育に出会いました。4歳児クラスで「図形あそび」の活動をしている場面で、園児たちが「丸いもの」を発表しているところでした。「りんご」「ボール」と次々と発表が続く中、ある男の子が「えんぴつ」と元気よく答えました。周りの子どもたちが一瞬きよんとする中、先生は笑顔浮かべながら「よく気がついたね。〇〇くんが言ったのはここですね」と鉛筆の底の丸い部分を指し示しました。周りの子どもも納得の表情です。続いて、「三角のもの」の発表です。その男の子はまた「えんぴつ」と答えました。先生はまたにっこりと笑って「ここにも気がついたんですね」と言って削った先の部分を見せました。その瞬間、自然と子どもたちから拍手がおきたのです。みんなが笑顔のあたたかくやわらかな空間でした。この保育教諭(かつての教員ですが、今は教えられています)のような素敵な先生に学生が育つことを信じて、これからも保育科は頑張りたいと思います。



「社会的養護Ⅰ・Ⅱ」の学びを通して

保育科2年 松山 芽果実

社会的養護Ⅰの授業では、講義やDVDなどを通して児童養護施設などの「施設保育士」の知識や現状を学び、児童養護施設の園長先生が担当くださった社会的養護Ⅱでは、現場の実状や施設保育士の仕事、事例を通して、そこで暮らす子どもたちの日常や支援方法など、現場の先生ならではの様々なことを学んでいます。本学で、例年行われる施設実習は、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学内実習となりました。先輩方の中には実際の現場での実習を通して施設に興味を持ち、就職された方も多くいらっしゃると思いますが、楽しみにしていたので、実習が叶わなかったことはとても残念に思いました。私は入学以前より、児童養護施設での就職を希望しており、アルバイトをしています。施設で暮らす子どもたちはみんな元気で楽しく生活しております。様々な事情を抱えている子どもたちですが、偏見を持つことなく、一般家庭の子と同じように育て、社会に出たときに「施設で育てて幸せだった」と思ってもらえるような支援を目指しています。保育士や幼稚園教諭だけでなく施設保育士にも目を向けてもらえると嬉しいです。



専攻科(福祉専攻)

コロナ禍の専攻科(福祉専攻)~学生の遅しく前進する姿に感動~

専攻科(福祉専攻)主任 桑迫 信子

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で、自由な暮らしの尊さに気づき、健康に感謝し、大切な人をより一層慮る一年となりました。そして、実習でお世話になっている高齢者施設での計り知れないご苦労を拝察すると共に、医療福祉の最前線で活躍される方々に心からの敬意を抱く日々です。専攻科では、保育科卒業後1年間の履修で、介護福祉士国家試験の受験資格が得られます。今災害で浮き彫りとなった福祉の弱点が和らぐよう、養成校としての使命をさらに強く感じながら、誰も「感染させない」「学びを止めない」「孤独にしない」の一念で、画面越しの遠隔授業で語りかけました。また、実習を演習に代えるなど変更を繰り返しましたが、どんな状況でも力強く前進する学生の遅しさに感動しました。この経験を力にし、感染対策を学んだ福祉専門職者として高齢者施設や医療的ケア児対応の保育園および障がい児施設、病院などそれぞれに活躍してくれることを心より願っています。



目標に挑戦する専攻科、入学して良かった

専攻科(福祉専攻) 山下 彩奈

専攻科入学直後に新型コロナウイルスの感染が拡大し、不規則な登学や遠隔授業が始まりました。一年間の限られた時間と先の見えない不安定な生活の中で、専攻科の修了や国家試験はどうなるのかという焦りが日ごとに増していきました。私は、アパートでの一人暮らしのため気分転換もできず、積もる不安に入学を後悔したこともありましたが、徐々に県内の感染状況が落ち着き対面授業ができるようになると、学友と励ましあいながら一緒に勉強できる喜びを味わいました。学校では、これまでの遅れを取り戻すように先生方が一人ひとりに気配りし、声かけをしてくださりました。また、中止になった実習に対してもあらゆる手段で準備してくださったことに、頑張ろうという気持ちが湧いてきました。少しずつではありますが、知識を結びつけることで不安が薄れ、分かった時の喜びを感じられるようになりました。



現代ビジネス科

新型コロナウイルスとの共存を模索したこの1年

現代ビジネス科長 矢田 憲太郎

新型コロナ感染拡大が始まった年度当初、新入生については4月15日に学科登学日を設け、タブレットの配布と遠隔授業実施の説明、4月16・17日の2日間模擬授業の実施を経て遠隔授業ができる体制を整え、4月27日からZoomによる双方向型遠隔授業とYouTubeを使った配信型遠隔授業の2タイプのWeb配信授業をスタートすることができ、情報教育に強い現代ビジネス科の特色を活かした年度のスタートでした。8月から9月の間に予定されていたビジネスコース1年の企業実習Ⅰと医療事務・医療秘書コース2年の医療機関実習Ⅱを学内実習に切り替えて実施することとなりました。しかし、学科担当教員の創意工夫と関係機関・企業等の全面的なご協力ご支援によりコロナ禍で実施できる最良の代替実習を実施することができました。これらの他にも、コロナ禍で計画通りに実施できなかった学生募集の取組を補完する目的で、現代ビジネス科に入学して大きく成長し進路先の決まった学生の姿を直接、高校の先生方に伝える学科教員と学生同伴による普通科高校学校訪問を実施するなどの新しい形の高校訪問も実施できました。このように今年度は、新型コロナウイルスとの共存を模索した1年でありましたが、「教員の喜びは学生の成長を感じることを」を合い言葉に学科職員一丸となって取り組んでまいりました。今後も現ビONE TEAMで頑張りますので、今後の現代ビジネス科の学生の成長をご期待くださるとともに、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



遠隔授業スタジオ
Zoomでの遠隔授業



学内医療機関実習Ⅱ
模擬病院での受付



学内医療機関実習Ⅱ
模擬病院での受付

一年間を振り返って

現代ビジネス科 ビジネスコース1年 中野 未帆

私はこの一年間でパソコンや簿記、ビジネスマナーなどたくさんの新しいことを学びました。それらを学んでいく中で力をいれて取り組んだことは資格取得です。私は計画的に物事を進めることが苦手で、いつもギリギリになってやることが多いのですが、短大では自主学習が高校よりも必要になってきます。これからたくさんの資格取得をするためには検定日から逆算して自主学習を進める必要があり、社会人になっても活かせるような学習の仕方をしたいと思っています。取得できた資格はまだ少ないですが、残りの一年ほどで、以上のことを意識し、多くの資格取得の目標に向かって、その過程も大事にしていきたいと思っています。



一年間を振り返って

現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース1年 黒木 悠理

入学して短大での学生生活が始まりもうすぐ一年が経とうとしています。ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり中々学校に行けない日々も続き不安でした。勉強のことはもちろん友達や先生方ともあまり交流がなく、学生生活を楽しくいけるのか心配でした。そしてやっと学校に行ける日がきました。高校とは違いコマ90分授業で初めの頃は慣れることができず授業を受けるのに必死でした。しかし今では、90分の授業に少しずつ慣れてきて90分の授業が足りないくらい充実した日々を送ることができています。しかし、コロナウイルスの影響は大きくいつ遠隔授業になってもおかしくないのが現状です。遠隔授業では、分からないところを直接聞くことができなかつたり、通信環境が悪く声が聞き取れなかつたりする時もありました。今は、登学することができているので時間を大切に過ごしていきたいと思っています。後期の後半には初めての医療機関実習があります。今まで学んだことを活かし積極的に取り組んでいき、自分を成長させるために頑張っていきたいです。

